



鳶組合によるはしこ乗り



①



①神幸祭の列に続く山車。今にも降り出しそうな空の下にもまつりの熱気が漂う。②雨が降り出し、多くの人が傘を手に足早に移動。③掛けられていた雨よけのカバーが外され、山車の美しい姿が闇に浮かび上がる。④拍子木の合図で動き出す山車。⑤いよいよクライマックス、夜の曳っかわせ。

雨よ上がれ!!

川越まつりが10月19日、20日に開催されました。初日の夕方、厚い雲から落ち始めた雨。そのまま降り続けてしまうと思われた雨脚は、日が暮れると弱まり、ちょうちんに明かりをともした山車が動き始めました。曳っかわせを見ようと多くの人が集まるってくと、「待っててよかった」という声があちらこちらから聞こえてきました。



ふおとニュース

川越まつり会館の映像リニューアル

開館10周年を迎えた川越まつり会館では、展示ホールの大型スクリーンで上映している川越まつりの映像がリニューアルされました。6分40秒の映像には、昨年の川越まつりの様子が映し出され、まつりの臨場感を演出します。学校の授業で見学に来ていた南古谷小学校3年生の黒川璃空くんが感想を聞くと、「きつねのお面が出てきた場面が迫力あって心に残りました」。

